

平成30年9月13日

2018 安全報告書
(平成29年度分)



上飯田連絡線株式会社

はじめに

上飯田連絡線（味鉢～平安通）は、地域の方々始め関係の皆様のご支援ご協力のもと、平成15年3月27日の開業より、今年3月には開業15周年を迎え益々多くのお客さまにご利用いただいております。

当社は、鉄道事業法に基づく第三種鉄道事業者として、上飯田連絡線の鉄道資産を保有し、第二種鉄道事業者（名古屋市交通局及び名古屋鉄道株式会社）に貸与しており、営業運転及び保守管理につきましては、第二種鉄道事業者が行っております。

このため、当社は、第三種鉄道事業者として、第二種鉄道事業者と連携し、今後とも輸送の安全を確保していくこととしております。

本報告書は、鉄道事業法に基づき、輸送の安全を確保するための取り組みを広くご理解いただくために作成しました。今後の取り組みを一層充実させるため、皆様からのご意見、ご感想をお聞かせくださいますようお願い申し上げます。

上飯田連絡線株式会社

代表取締役社長 石原 君雄

1 基本的な方針

(1) 安全基本方針

- 当社社員は、次に掲げる安全に係る行動規範に基づき、輸送の安全に努めます。
- 一致協力して輸送の安全の確保に努めます。
- 輸送の安全に関する法令及び関連する規程をよく理解するとともにこれを遵守し、厳正、忠実に職務を遂行します。
- 常に輸送の安全に関する状況を理解するよう努めます。
- 職務の実施に当たり、推測に頼らず確認の励行に努め、疑義のあるときは最も安全と思われる取り扱いをします。
- 事故・災害等が発生したときは、人命救助を最優先に行動し、速やかに安全適切な処置をとります。
- 情報は漏れなく迅速、正確に伝え、透明性を確保します。
- 常に問題意識を持ち、必要な改革に取り組むよう努めます。

この安全基本方針の趣旨を踏まえ、簡略・明確化した安全方針を制定し、社員が常に安全最優先の意識を徹底するよう促し、安全確保の取り組みを推進しています。

安 全 方 針

- 1 安全最優先に努めます。
- 1 法令・規定を遵守し、職務を遂行します。
- 1 問題意識を持ち、改革に取り組みます。

上飯田連絡線株式会社代表取締役社長
石原君雄

(2) 安全目標

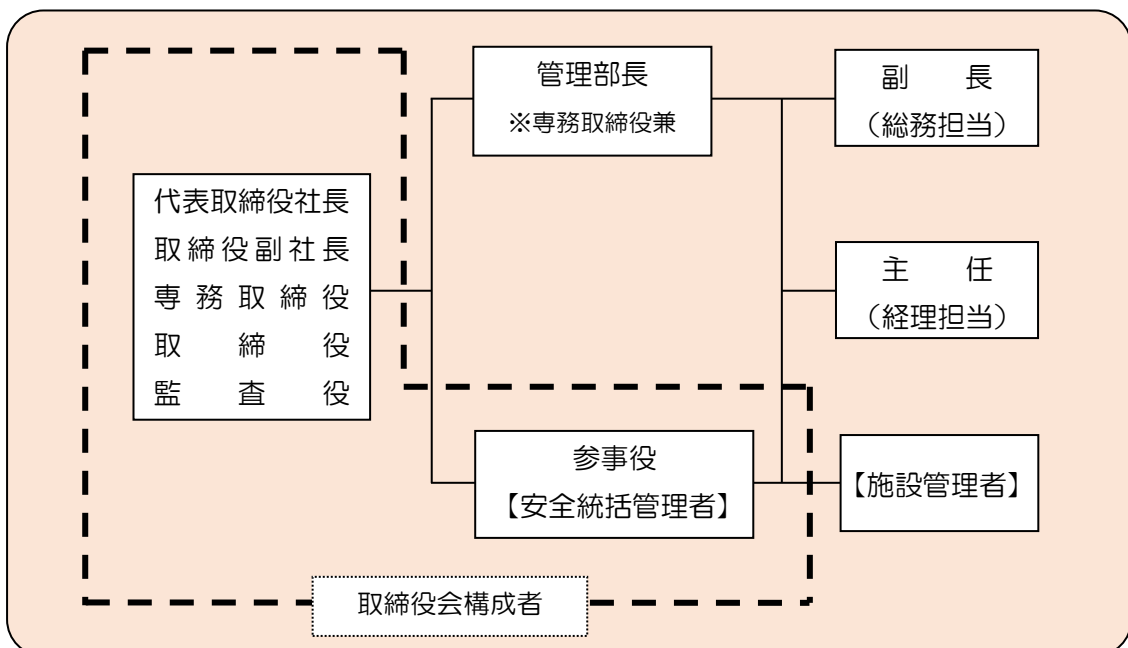
上飯田連絡線内における鉄道施設に起因する事故・輸送障害が発生しないことを安全目標とします。

(3) 安全重点施策

安全目標を達成するため、第二種鉄道事業者と連携して鉄道施設の改良等に取り組んでまいります。

2 安全管理体制と方法

(1) 安全管理体制



○各責任者の責務

社 長	-----	輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う。
安全統括管理者	-----	輸送の安全の確保に関する業務を統括する。
管 理 部 長	-----	輸送の安全の確保に必要な投資、予算及び要員等に関する事項を統括する。
施 設 管 理 者	-----	鉄道施設に関する事項を統括する。

(2) 安全管理方法

- 事故・災害等に備え、緊急時における連絡体制その他規程を定め、速やかに関係機関との連絡・連携ができるよう、体制図等を当社事務室の見やすい場所に掲示しております。
- 第二種鉄道事業者との協定により、施設の保守管理及び事故・災害等の情報について随時報告を受けており、必要に応じ連携して対応しております。
- 安全統括管理者及び役員・従業員は、適宜に現場に赴き、輸送に係る業務の実施及び管理の状況を確認しております。

3 事故の状況等

当年度中において該当事項はありません。

4 行政指導等

当年度中において該当事項はありません。

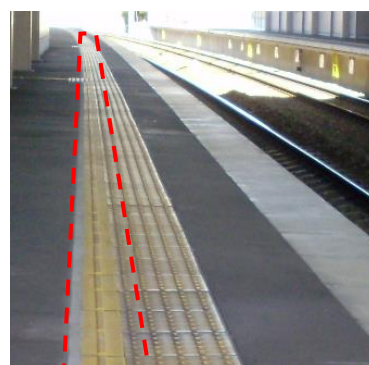
5 安全確保等のための措置

安全のための設備充実

- 当社の所有する味鋤駅（名鉄小牧線）では、ホーム縁端を警告する点状ブロックが整備済みですが、第2種鉄道事業者である名古屋鉄道株式会社の進める内方線付き点状ブロックの整備計画において、味鋤駅の点状ブロックに内方線を追加する工事を実施し、平成30年2月に整備が完了しました。



【味鋤駅（着手前：点状ブロックのみ）】



【味鋤駅（整備後：内方線を追加）】

情報共有・人材教育等

○安全管理体制が適切かつ円滑に運営されるよう、また、安全に関する取り組みの継続的な改善のため、第二種鉄道事業者とのコミュニケーションを確保するとともに、役員を含めた連絡会議の開催、中部運輸局・第二種鉄道事業者等関係機関からの情報の社内周知等により情報の共有及び問題解決に取り組んでおります。

- 施設担当者会議

：平成29年4月20日開催

施設担当部署による上飯田連絡線の施設改良および保守に係る年度計画及び実績の報告及び意見交換

- 運輸安全マネジメント研修

：平成29年7月10日開催

常勤役員を含めた全社員に対する安全意識の向上とそれぞれの立場における役割について理解促進を図るための運輸安全マネジメント制度研修

- 運輸安全マネジメント担当者会議

：平成29年10月19日開催

安全監理担当部署による上飯田連絡線にかかる安全報告書に関する報告及び意見交換

- マネジメントレビュー会議

：平成29年12月4日開催

安全統括管理者が当社の安全管理体制の構築・改善の状況を取りまとめ、社長に報告を行い、社長より「当社における安全管理体制の確立には、第二種鉄道事業者との連携が不可欠であることから、更に第二種鉄道事業者とのコミュニケーションを強固なものとする」との訓示がありました。



【施設担当者会議】



【運輸安全マネジメント研修】



【運輸安全マネジメント担当者会議】



【マネジメントレビュー会議】

○第二種鉄道事業者等が主催する訓練等に積極的に参加しております。

- 制水扉操作訓練：平成29年10月10日
第二種鉄道事業者の実施する制水扉“味鋺・上飯田間”操作訓練及び味鋺止水壁操作訓練に参加
- 災害事故総合復旧訓練：平成29年11月8日
第二種鉄道事業者が実施する災害事故総合復旧訓練に参加
- 上飯田駅異常時訓練：平成30年3月13日
第二種鉄道事業者が実施する上飯田駅異常時訓練に参加



【災害事故総合復旧訓練】



【上飯田駅異常時訓練】

6 輸送の安全に関する内部監査

○平成29年11月16日、被監査者として安全統括管理者に対する内部監査を実施しました。

内部監査の結果は、以下のとおりです。

【指摘、指導事項】 なし

【優良事項】 なし



【運輸安全マネジメント内部監査】

7 ご連絡先

安全報告書へのご感想、当社の安全への取り組みに対するご意見をお寄せください。

電話 052-981-6437・FAX 052-981-6443、電子メール kami-iida@iris.ocn.ne.jp



■上飯田連絡線のシンボルマークコンセプト

尾張北部地域のイメージカラーとした“緑”と名古屋都心のイメージカラーとした“青”を2つの円で表し、また、これを結ぶ2本の線は、名鉄と地下鉄の相互直通運転による地域の発展への貢献と上飯田連絡線をご利用されるお客様へのサービス向上を表しています。